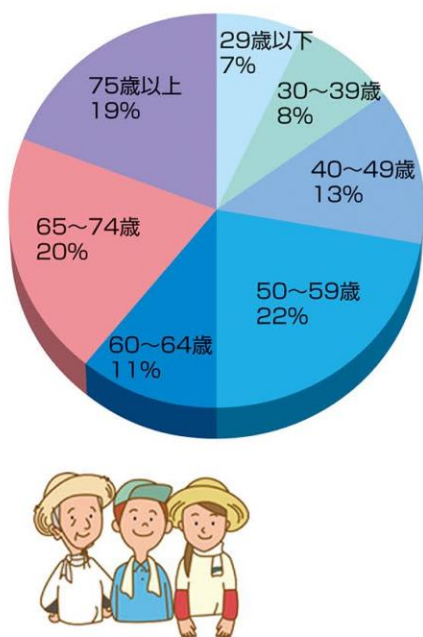


3 地域の課題

事業の必要性・緊急性

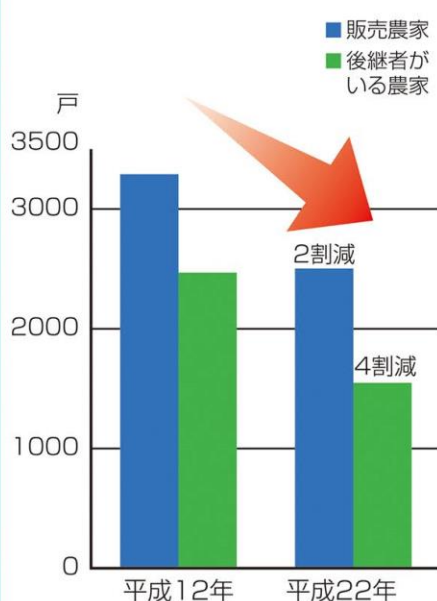
- 本地域では、近年10年間で農家数が17%減少し、後継者がいる農家については37.5%減少している。
また、65歳以上の農業就業人口が4割を占めるなど、農家数の減少や高齢化が深刻な問題となっている。
- 地区内の水田は、30a未満及び未整備の小区画ほ場が約80%を占めているのに加え、全域に排水不良が発生し、農道の幅員も狭いことから、大型機械による農作業の支障となっている。

農家の高齢化



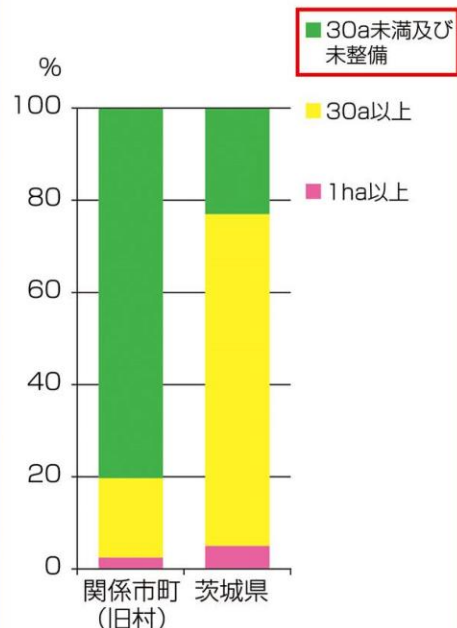
出典:農林業センサス

農家及び後継者の減少



出典:農林業センサス

水田のほ場整備状況

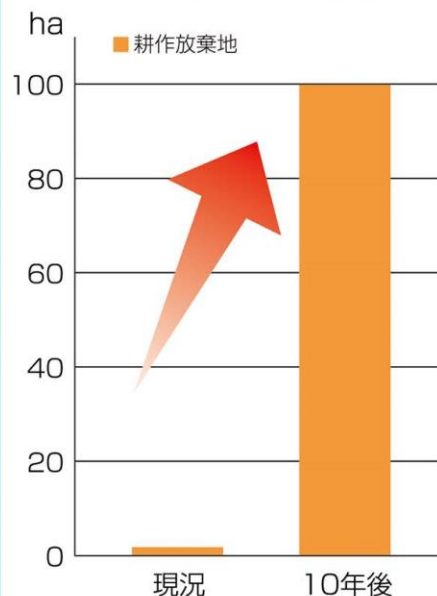


出典:H21関東農政局調べ

- 作業条件が悪いほ場では、受け手がなく、現在2haが耕作放棄地化しているほか、現状の小区画・排水不良なほ場条件では、今後100haのほ場が耕作放棄地になるおそれがある。
- 地域の農地を維持・活用するには1農家当たりの経営農地面積の増大が必要であるが、現在のほ場整備水準では、1経営体当たりの経営農地面積の増大には限界があり、早急に整備を行い作業の効率化と農地の集積を図ることが急務である。

耕作放棄地の実態・将来

耕作放棄地面積の推移(推定)



通行に支障がある狭い耕作道



土水路による排水不良